

梨花女子大学訪問調査

I. 予備調査

2008年8月7日

出張訪問者 三浦 徹 (教育機構長)、森山新 (人間文化創成科学研究科文化科学系准教授、日本語教育学)

1. 国際交流担当副学長との面談

金 孝根 KIM Hyo-Gun, Vice President, Office of Global Affairs

徐 SUH Anna Program Manager

<Global Ehwa 2010 プランについて>

新キャンパス構想 Paju Campus Project

1. リーダーシップ養成 入学後半年、全学生が寄宿して教養教育を実施
2. 産学連携研究
3. 地域連携 地域社会への貢献

基本コンセプト self-sustained 現在の新村キャンパスとは別経営

2009年スタートの予定であったが、計画そのものを練っている段階

国際化

留学生動向 学部生は 800-1000 人 北米、アジア (中国) から、韓国語必修英語での授業

現在は平均 18%であるが、30%をめざしている。海外からネイティブの教員をハンティング。授業効果としては理解度などが下がる、また全部英語になるとかえって特色がなくなるおそれもある。

2. 学内ツアー

- ・ 21st Complex (写真1) 旧河川敷 (グラウンド) を利用、5階建て
駐車場、共通スペース (ショップ、学生センター、ジム)、2階以上は教室
- ・ 梨花学堂を模して 2006年に資料館として再建。7代目以降が韓国人女子学長
- ・ 本部棟 1935年建設

写真1 梨花女子大学正門付近





3. 学長、副学長面談

LEE Bae-Yong, 学長

安 洪植 AHN Hong-Sik 副学長 渉外担当

HWANG Gyu-Ho 教育担当副学長

- ・女子大として女性むけの特別な科目はないが、女性研究はしている。
 - ①リーダーシップ養成 ②就職活動支援 ③課外活動支援 を行う
- ・Institute for Leadership のプログラム
 - ①在学生用、②卒業生用 ③ビジネス用 ④政治家用 ⑤NGO用
- ・2年生で専攻選択 ダブルメジャー、Major/Minor 制をとる
 - 専攻必修単位は分野によって異なる

4. 教務課長面談

面談者： 李 恩揆 LEE Eun-Gyu

- ・卒業単位 126 (人文学部)

教養 必修 12-15 単位 (国語、英語、キリスト教、第二外国語、各 1 科目)

一般領域 人文、社会、自然、芸術から選択

かつては教養重視、しかし専門が重くなってきている。

新プログラム Harvardなどを参考、

4科目では不足、7領域をたて、学際的科目群を設ける計画 (世界理解、論理、自然と利用など)。09年3月から開講予定。

- ・学部制と学科制

韓国では一時学部制へ移行した大学が多くあったが、学科制に戻るところもかなりある。

学部制、専攻は1-2年次に決定、

専攻単位 かつては 36 単位、専門性を高めるために 07 年度より 50 単位までアップ

自由単位が約 50 単位あり、ダブルメジャーが可能

専攻の上限定員あり 成績によって制限する。ガイダンスをやり、1年間学習してのちの決定なので、

いままでは問題はでていない。競争になれている、学部で希望通りの専攻ができなくても大学院がある。
ダブルメジャーにするには成績優秀でないと不可（GPA3.0以上）

Scranton College は、ダブルメジャー、さらに自由選択制を検討。

学部	卒業単位	深化専攻	複数専攻 基礎+専攻	教養
人文科学	126	5 4	4 2	2 7
社会科学	126	3+42	3+ 3 3	2 7
自然科学	126	12+45	12+30	2 4
工学（情報科学）	135	xxx	34+62	2 4
師範（教育）	135	xxx	25+42	2 7
法学	136	xxx	81	2 7
経営学	126	60	45	2 7
国際学	126	9+45	9+36	2 7

- ・FD 教授法の研究授業や教材開発に対する評価、はあるが、全教員の義務化したものはない。授業評価が重視され、4年ごとにカリキュラム改革があるので、教員は常に自主的にFDを行うことになる。
- ・教職免許 教育学部で取得、国家試験があるので限られる。
- ・授業 75分 x 週2回 x 16週 3単位（本来は50分 x 週1回で1単位）
- ・キャリア科目
リーダーシップ科目と経歴開発科目 いずれも教養科目の単位となる。
- ・時間割 できるだけ学生がとれるように調整
学生が履修状況を自分で把握できるように、システムを変える予定。

II. 本調査

2008年9月5日

訪問調査者 三浦 徹（教育機構長）、鷹野景子（教育担当評議員、人間文化創成科学研究科自然・応用科学系教授、化学）、森山新（人間文化創成科学研究科文化科学系准教授、日本語教育）

1. 日本語講義参観

講師：Professor SONG Young Bin

学生数 40名程度 (写真4)

テキストは、日本の新聞記事で、星野ジャパンの北京オリンピック、をあたかったもの。初回の授業にもかかわらず、学生はテキスト（教材）をウェブサイトからダウンロードし予習して持参。授業方法は、学生を順次あてて、朗読し、語彙や文意を尋ね、解説するという方式。授業後、担当講師に尋ねたところ、授業テキストは、教員がウェブにアップし、学生がダウンロードする方式になっていて、アップができない教員はいない（それでは勤まらない）とのこと。



2. 国際学科 Division of International Studies 訪問

面会者：LEE Seok Weon, Associate Dean

<沿革>

1997年 大学院に国際学コース設置、2001年に学部でも開設

2006年に学科設置、2007年より、Scranton College のなかの学部（学科）として発足（Scranton College は他の学部とちがいで学際性を重視する）。

<構成>

教員；専任教員7名、学生：20名

<カリキュラム>

・3つのトラック①ビジネス&経済学②国際関係&国際法③アジア学（人文学にウエイト）があり、2つのトラックを選択する。

・卒業論文は課していない。

・授業はすべて英語で実施。

<学生の履修状況>

・国際学を主専攻とする学生は、英語が得意な学生（帰国子女）が多い（教員よりもできるくらいだ）。海外からの留学生は4-5名。

・ダブルメジャーを履修する学生が多い（経済学、政治学など）

・他の学部生で、国際学 DI を履修する学生は少ない、悪い成績がつくのをおそれているのだろう。

・韓国は、国際協力に関心をもっているし、（日本とは違って）他の文化を積極的に受け入れてきた。た

だ、英語力がネックになっている。東アジアを専門とする学生をゲットしたい。

<大学全体の方針>

- ・梨花女子大の学生は aggressive、共学化するとこのよさをうしなってしまう。

3. 経歴開発センター Career Development Center

面会者：HAHM In-Hee, Director of EHWA Career Development Center

KANG Minah, Assitant Director, EHWA Institute for Leadership Development



写真 5, 6 ジョブ・カフェ キャリア開発センターにあり、就職情報を検索できる。

<沿革>

かつては学生課の一部署にすぎなかったが、2005年に独立のセンターとなった。

総長直属で、センター長は院長が兼任（教授）

<業務>

- ①学生の就職支援（事務スタッフ）、②教育研究開発（教員）、③就職相談（企業経験者）

学年別に対応

<就職支援>

- ・学生の進路 3500名のうち、就職が70% 進学20-25%

1年生 進路検討 3年生 就業スキル（インターンシップ参加） 4年生 就活（9-11月にかけて）

・企業の要求する条件は増えていて、4年間では足りない。早期離職を防ぐためにも、会社について知る必要がある。

・女性が仕事をもつことはふつう。男性も仕事をもつ女性を求めており、育児参加するようになってきている。

Ewha School for Leadership Development

<プログラムの内容> 履修プログラム4を参照

1. リーダーシップ訓練 I 1単位

2. リーダーシップ訓練Ⅱ 3単位 (15回)

基本概念(2時間)→自己理解(4時間)→スキル開発(6時間、ゲスト講師あり)→学生チーム発表(2時間)→考査

学内・学外で変化を起こすプログラムを企画(不便なことを改良するなど)し、その結果を発表、討論する。

3. インターンシップ 1ヶ月以上の勤務。単位認定者は100名ほど。

- ・担当教員 リーダーシップ教育を専門とする教員は少ない。研究員や企業経験者も参加。
- ・「リーダーシップ認証」者は、20—30名程度(優秀な学生のみ認定)。

4. 化学科訪問

面談者: Professor UM Ik-Hwan (有機化学)

・理学系は、数理物理学科と分子生命科学科とから成り、工学系は、情報通信工学科、建築学科、環境・食品工学科から成る。

・自然科学系の基礎教育は、学科毎に行なっている。化学分野では、梨花女子大を卒業後、他大学の大学院に進学する学生が多い。また、大学院には、他大学を卒業した大学院生が多く在籍している。留学生も何人かいる。教員数と大学院生数の比率は、3対10程度。

・学部に化学英語の授業はなく、英語の教科書を使用することによって、理系英語教育を行なっている。大学院では、英語での講義も一部ある。

・実験 週1回(基礎から専門まで) ガラス器具を破損した場合は、費用の50パーセントを弁償するルールになっているとのこと。

・卒業研究 3年次の冬学期以降に取り組む。

5. 自然科学部長との面談

面談者: LEE Hei-Sook, Dean of the College of Natural Science (数学)

・Major/Minor制について

「数学と経済学」「数学と生物学」といった組み合わせが可能、多様な進路が拓ける。

自然科学部学生2—4年生のうち、深化専攻履修450、ダブルメジャー300名、メジャーマイナー150名(計900名)の比率となっている。

・大事なことはキャリア・ビジョン。

・大学院進学 内部進学者は減少している(40%程度)。

・女性科学者を育てるには、ロールモデルの提示とライフサイクルにあった支援が必要。

6. 国際交流担当副学長との面談

国際化目標を立案中。

・本学学生派遣戦略(Boeing626計画) 交換/訪問/短期/語学など6つの事業を実施し、海外に20拠点を築き、新入生の60%を海外派遣する。派遣学生1300名(2008)を2010年までに1920名に。

・留学生受入戦略(Boeing744計画) 7つの事業を40カ国で展開し、受入留学生(短期を含む)を現行3000名(2008)から2010年までに4000名に。

参考資料 梨花女子大学履修規定（抜粋）

1. 梨花女子大学 履修規定・科目表

専攻科目及び教養科目 所要取得単位

大学	学部・学科・専攻	卒業 まで 必要 な単 位	深化専攻時 履修単位			(複数)専攻時 履修単位			教養 必須単位	
			大学 基礎	専攻 基礎	最小 基礎	大学 基礎	専攻 基礎	最小 基礎	共通 領域	一般 領域
人文科学大学	各学部	126	-	-	54	-	-	42	15	12
社会科学大学	各学部	126	-	3	42	-	3	33	15	12
自然科学大学	各学部	126	-	12	45	-	12	30	12	12
工学部	コンピューター情報通信 工学	135	-	-	-	-	34	62	12	12
	電磁情報通信工学	135	-	-	-	-	31	62	12	12
	建築学	170	-	-	-	-	20	126	12	12
	建築工学	135	-	-	-	-	37	62	12	12
	環境・食品工学部	135	-	-	-	-	31	62	12	12
芸術大学	音楽大学	135	-	-	-	6	21	48	12	12
	造形芸術学部	132	-	-	-	6	12	48	12	12
	デザイン学部	132	-	-	-	6	18	48	12	12
	衣類学科	132	6	-	48	6	-	36	12	12
	舞踊学科	132	-	-	-	6	-	48	12	12
師範大学	教育学・育児教育・特殊 教育・社会生活学科	135	-	-	-	-	25	42	15	12
	初等教育科	135	-	-	-	-	25	48	15	12
	教育工学科	135	-	25	54	-	25	42	15	12
	英語教育・国語教育科	135	-	25	51	-	25	42	15	12
	科学教育科	140	-	-	-	-	25	42	12	12
	数学科	135	-	-	-	-	25	42	12	12
法学大学	法学科	136	-	-	-	-	-	81	15	12
経営大学	経営学	126	-	-	60	-	-	45	15	12
	国際事務学	126	-	-	60	-	-	45	15	12
健康科学大学	看護科学部	133	-	-	-	9	9	76.5	12	12
	体育科学部	129	9	-	52	9	-	42	12	12
	食品栄養学科	129	9	-	52	9	-	42	12	12
	保険管理学科	129	-	-	-	9	-	51	12	12
薬大学	薬学科	155	-	-	-	-	6	108	12	12

Scranton	Scranton 学部	-	-	-	-	-	6	30	-	-
	国際学部	126	-	9	45	-	9	36	15	12

★(複数)専攻時 履修単位

- 1) 他専攻を複数専攻する主専攻の学生が履修すべき単位
- 2) 他専攻生が該当専攻を複数専攻する場合、履修すべき単位

★芸術大学 2007 学年度、専攻履修単位は 2008 学年度専攻履修単位を遡及適用する。

★すべての学生は所属専攻(学科)の専攻及び専攻基礎科目及び大学基礎科目と他専攻(学科)で開設される専攻教科目の中、60 単位以上を必ず履修しなければならない。

教養教科目

教養必修教科目

- (1) 共通領域 : 教養必修 教科目で国語と作文・キリストと世界・英語 I の教科目以外に人文・社会系列は第 2 外国語の一つの科目と英語 II を必修に、自然・芸体能系列は第 2 外国語と英語 II の中で択一し、国際学部は第 2 外国語の一つの科目と英語 III または英語 IV の中で 1 科目を履修しなければならない。
- (2) 一般領域 : 人文、社会、自然、芸体能領域の教養選択 教科目を領域別に 1 科目(3 単位) 総 12 単位を必ず履修しなければならない。

2. 梨花女子大学の教養科目 履修

ア. 教養必修科目

- 1) 共通必修(9 単位) 国語と作文、英語 I、キリストと世界
- 2) 共通選択(3-6 単位)

人文及び社会系列の学生は第 2 外国語の 1 科目と英語 II を必修で履修する、自然及び芸体能系列の学生は第 2 外国語と英語 II の中で択一して、指定された学期に必修で履修する。

※第 2 外国語指定科目: 基本中国語、中級中国語、基本フランス語、中級フランス語、基本ドイツ語、中級ドイツ語、基本日本語、中級日本語、基本スペイン語、中級スペイン語、基本ロシア語

3) Scranton 学部進学生共通必修

ア) 人文及び社会系列(15 単位) 思考力を作文、英語 I、キリストと世界、Writing and Discussion、第 2 外国語の一つ

イ) 自然系列(12 単位): 思考力を作文、英語 I、キリストと世界、Writing and Discussion

※思考力と作文は国語と作文、Writing and Discussion は英語 II の代替科目である。

＜共通必修及び共通選択 教科目リスト＞

大学	専攻(学科)	1 年生		2 年生
		1 学期	2 学期	1 学期
人文	すべての専攻	英語 I、第 2 外国語、キリストと世界	国語と作文、英語 II	
社会	すべての専攻	英語 I、キリストと世界	国語と作文、英語 II、第 2 外国語	
自然	すべての専攻	国語と作文、英語 I	キリストと世界、第 2 外国語 ┌ 英語 II └ 択 1	
工学科	すべての専攻	国語と作文、英語 I	キリストと世界、第 2 外国語 ┌ 英語 II └ 択 1	

芸術	すべての専攻	国語と作文	キリストと世界、英語I	第2外国語「 英語II 」 択1
師範	教育、幼教、小教、 教育工学、特殊教育、 社会生活	英語I、キリストと世界	国語と作文、英語II、第 2外国語	
	英教、国教	英語I、第2外国語、キリ ストと世界	国語と作文、英語II	
	科教、数教	国語と作文、英語I	キリストと世界、 第2外国語「 英語II 」 択1	
法学科	法学	英語I、キリストと世界	国語と作文、英語II	第2外国語
経営	すべての専攻	英語I、第2外国語、キリ ストと世界	国語と作文、英語II	
健康	すべての専攻	国語と作文、英語I	キリストと世界、 第2外国語「 英語II 」 択1	
薬科	薬学	国語と作文、英語I	キリストと世界、 第2外国語「 英語II 」 択1	
Scranton	Scranton(人文)	英語I、第2外国語、キリ ストと世界	思考力と作文、Writing and Discussion	
	Scranton(社会)	英語I、キリストと世界、思 考力と作文(受講可能)	思考力と世界、Writing and Discussion、第2外国語	
	Scranton(自然)	思考力と作文、英語I	キリストと世界、Writing and Discussion	
	国際学部	英語I、キリストと世界	国語と作文、英語IV(論文作 成方法)、第2外国語	

4) 一般領域必須

ア) 2007 学年以後、入学生は一般領域の教養教科目の中、各領域別(外国語領域は除く)で 1 科目(3 単位)ずつ、総 12 単位を卒業する前に必修で履修する。

イ) 2006 学年の入学生は一般領域の教養教科目の中、各領域別(外国語領域は除く)で 1 科目(3 単位)ずつ、総 12 単位を卒業する前に必修で履修する。ただし、ウ)の主題統合形教養教科目の中で二つの領域で 1 科目(3 単位)ずつ、総 6 単位を必ず含める。

※ 一般領域教養教科目履修は 1 科目(3 単位)を履修する、実習中心の教科目及び S/U、P/F で成績が与える下の教科目は除外する。

<3 単位教科目の中、除外教科目のリスト>

領域	番号	教科医名(時間/単位)
社会	10737	海外市場開拓現場教育(-/3)
	10734	リーダーシップ訓練 I(3/3)
	10805	インターンシップ I(3/3)
	10806	国際インターンシップ(3/3)
芸術	10650	教養合唱 I(3/3)
	10651	教養合唱 II(3/3)
	10655	梨花 GLEE CLUB I (3/3)
	10656	梨花 GLEE CLUB II (3/3)
	10657	梨花 GLEE CLUB III(3/3)
	10658	梨花 GLEE CLUB IV(3/3)

ウ) 2002 学年～2005 学年の入学生は以下の教養教科目の中、各領域別に 1 科目(3 単位)ずつ、総 12 単位を卒業する前に必修で履修する。

<2008 学年 第 2 学期 開設 主題統合形 教養教科目 リスト>

教科目区分	番号	教科目名	時間/単位	開設専攻	備考
人文領域教養	10766	世界化時代の文明読み	3/3	国文	
	10768	神話的想像力と文化	3/3	中文	
	10654	文学と映画	3/3	独文	
	10769	モダン/ポストモダン文化読み	3/3	独文	
	10767	人間と文化	3/3	史学	
	10809	21 世紀文化と想像力	3/3	教務課	
社会領域教養	10770	神話と思想	3/3	政治外交	
	10771	人間行為と社会構造	3/3	社会	
	10772	生命・社会・正義	3/3	女性	
	10573	生命倫理と法*	3/3	法学	2007-1 から新規
自然領域教養	10774	宇宙と私	3/3	物理	
	10775	科学技術と社会変革	3/3	化学	
	10776	科学、生、未来	3/3	科学教育	
芸術領域教養	10777	音文化と人間	3/3	韓国音楽	
	10778	デジタルメディアと芸術	3/3	視覚デザイン	
	10779	人体美学	3/3	体育	

* 生命倫理と法(10573)は 2007-1 学期から社会領域主題統合形教養教科目で新規指定された科目で、該当教科目を 2007-1 学期以前に履修した学生も社会領域主題統合形教養教科目で認定される。

イ. 英語 I、英語 II の免除試験(2000 学年以後入学生)

- 1) 英語 I、II：新入生の中で英語 I、II 受講対象者(国際学部、再受講生は除く)の場合、授業のはじめにインタビューを作文試験を受けて優秀学生を選抜、受講免除を決定し A+成績を与える。
- 2) 2006 年第 1 学期の新入生から英語 I 免除試験をパスした学生も、次の学期の英語 II の免除試験をパスしたら英語 II を免除でき、A+を受けることができます。英語 I 免除の如何に関係なく、英語 II 免除試験を受けることができる。

ウ. 英語 II は英語 I 履修生に限り、英語 III は英語 II 履修生に限り、英語 IV は英語 III 履修生に限り受講申請をすることができる。

エ. 英語 I、英語 II は 1 学年対象科目なので、原則的に高学年学生の受講は不可のである。英語 I、II 受講対象学生は備考欄で指定されたクラス分けによって受講する。

オ. 教養英語 再受講：英語 I・II を学期中に再受講する場合は、以前に取得成績が D (D+, D0, D-) または F の学生だけ許す。以前の取得成績が C (C+, C0, C-) の学生は季節学期しか再受講できない。

3. 梨花女子大学リーダーシップ認証プログラム

在学生在卒業後、社会の各分野で専門女性リーダーとして活躍するようにリーダーシップの力量を奨励するため、「梨花リーダーシップ認証プログラム j」を行っている。

ア. 教科目名及び時間/単位：

リーダーシップ訓練 I またはグローバルリーダーシップとキャリア開発(1.5 時間/1 単位)
リーダーシップ訓練 II (3 時間/3 単位)、社会ボランティア I・II (各 2 時間/1 単位)

イ. 成績評価：

リーダーシップ訓練 I、グローバルリーダーシップとキャリア開発、ボランティア I・II -S/U(合格/不合格)

ウ. 受講対象：累計平均 3.0 以上の在學生

(リーダーシップ訓練 I は 1、2 学年、グローバルリーダーシップとキャリア開発は Scranton 学部 2 学年、リーダーシップ訓練 II はリーダーシップ訓練 I またはグローバルリーダーシップとキャリア開発を履修した 3、4 学年の学生に限る)

エ. リーダーシップ体験レポート作成及び提出案内

- 1) 内容. 教科目受講内容をもとに校外でリーダーシップを体験した内容と成果

2) 分量：A4 10 ページ内外

3) 作成要領

- ・ 標紙(キャリア開発センターホームページ→情報広場→就業資料でリーダーシップで検索または公知事項)
- ・ 本文は自由形式でリーダーシップ体験に通して習った点、困った点、克服事例、今後プランなど詳しく書くこと(Social Action Project 修行経験など)
- ・ 成績証明書：リーダーシップ訓練 I(あるいはグローバルリーダーシップとキャリア開発)、リーダーシップ訓練 II と社会ボランティア I・II を票視すること。
(ただし、該当科目を受講中の学生は別途で担当先生の確認書を提出すること)
- ・ 証票書類(例：リーダーシップ活動を証明する写真、作品、証明書、録画 CD)

4) 評価基準

- ・ 内容忠実度：70%
- ・ 挑戦精神：20%
- ・ その他 得意事項：10%

5) 提出方法

キャリア開発センター(ECC B307 号)訪問提出

オ. 梨花リーダーシップ認証手順

- 1 段階：リーダーシップ体験レポート及び証票書類
- 2 段階：リーダーシップ体験レポート審査(キャリア開発センター)
- 3 段階：梨花リーダーシップ認証書 発給(キャリア開発センター)
- 4 段階：成績証明書で“梨花リーダーシップ認証プログラム” PASS 記載

4. 梨花女子大学社会ボランティア(I・II・III)教科目

ア. 教科目運営

- 1) 教科目名及び時間/単位：社会ボランティア I・II・III (2 時間/1 単位)
- 2) 教科課程履修：社会領域 教養教科目で在学期間の中、1 単位ずつ 3 学期を履修できる。
- 3) 教科運営方式：理論授業 6 時間(総 4 回 授業とインターネット授業)とボランティア活動 26 時間で運営できる。
- 4) 成績評価：S(合格)、U(不合格)に評価される。
- 5) 先手科目 指定：社会ボランティア II →社会ボランティア I 履修生に限る
社会ボランティア III →社会ボランティア II 履修生に限る
- 6) ボランティア期間 選択方法：(1)学校依頼期間、(2)自立選択期間(審議後 選定)
- 7) 授業撤回禁止：対外的なボランティアに対する責任性があるので教科目の受講撤回は認めない。
- 8) 社会ボランティア科目を一つの科目でも履修したら、卒業時社会ボランティア修了証が授与され、必要な場合は社会ボランティア証明書を発給することができる。

イ. 受講申請者留意事項

受講申請者は必ず次のボランティア申請期間のなかにイントラネットで社会ボランティア活動を申請する。ボランティア活動は先着順になる。

5. 梨花女子大学キャリア開発センター開設教科目案内

キャリア開発センターは次のとおり、教科目を開設して梨花人が成功的に職場世界で進出するように必要な力量を訓練させる。

ア. リーダーシップ訓練 I(1 単位、1, 2 学期開設)

- 1) 概要：「梨花リーダーシップ認証プログラム」の基礎科目。梨花人が社会に進出して専門女性としてリーダーシップを発揮できる資質と力量を訓練・開発させる。リーダーシップの基本概念の理解、肯定的自我像開発及び望ましいリーダーシップ成立など学習する。
- 2) 受講資格：累計平均 3.0 以上の 1-2 学年(ただし、1 学期は 2 学年に限る)

イ. グローバルリーダーシップとキャリア開発 (1 単位、1 学期開設)

- 1) 概要：卒業後グローバル社会に進出する専門女性としてリーダーシップを発揮する資質と力量を訓練

して、開発させるチャンスを持つようにする。

- 2) 受講資格：Scranton 学部 2 学年(リーダーシップ訓練 I と重複受講不可、この科目受講者はリーダーシップ訓練 II 受講可能)

ウ. リーダーシップ訓練 II (3 単位、1 学期開設)

- 1) 概要：「梨花リーダーシップ認証プログラム」の深化科目。自身に対する深層分析、女性生の理解、専門職業別女性リーダーの特性などを学習して「Social Action Project」を修行してリーダーシップ力量を開発する。
- 2) 受講資格：リーダーシップ訓練 I (あるいは、グローバルリーダーシップとキャリア開発) 履修者で累計平均 3.0 以上の 3-4 学年。

エ. 就職 Mentoring (1 単位、1, 2 学期開設)

- 1) 概要職業世界での円滑な進出のため、就業力量の開発及び訓練を目的にする。就業実践訓練科目と企業実務者が指導するオンライン Mentoring を実施。
- 2) 受講資格：2 学年以上

オ. インターンシップ I (1 単位、1, 2 学期、季節学期開設)

- 1) 概要：夏・冬休みまたは在学中、企業とか機関で 1 ヶ月以上勤務を通して現場体験及び適性探索を目的にする。
- 2) 申請方法
- ・季節学期(キャリア開発センターが直接インターンシップ企業を発掘し、志願者を推薦する方式)
：「参与企業リスト公知」→支援→推薦→キャリア開発センターが季節学期の受講申請処理)
 - ・定期学期(学生が個別インターンシップ活動後、単位で認証する方式)
：個別支援でインターンシップ修行→審査後承認(キャリアセンター)→承認後 1 年以内に学生が直接受講申請)
- 3) 受講資格：(1) 累計平均 3.0 以上、(2) 4 学期以上履修者

カ. インターンシップ II (3 単位、1, 2 学期開設)

- 1) 概要：国内企業とか機関の特定分野で 12 週以上長期勤務する。卒業後社会進出のため力量開発とキャリア開発のチャンスを提供する
- 2) 受講資格：3, 4 学年(キャリア開発センターの事前承認をもらった学生、インターン修了後 6 ヶ月以内)

キ. 国際インターンシップ (3 単位、1, 2 学期開設)

- 1) 概要：夏・冬休みまたは休学期間の間、海外で 10 週以上、企業体実務経験を単位で認定され国際経済力を備えたグローバル人材を養成する。
- 2) 受講資格：3, 4 学年(キャリア開発センターの事前承認された学生、インターン修了後 6 ヶ月以内)

6. 梨花女子大学深化専攻 履修

2008 学年度、入学生から複数専攻活性化を継続維持して、第 1 専攻だけを履修する学生には強化された専攻教育を提供するため、深化専攻制度を導入する。

ア. 深化専攻採択学科(専攻)

人文科学大学各専攻、社会科学大学各専攻、自然科学大学各専攻、芸術大学衣類学科、師範大学教育工学・英語教育科・国語教育科・経営大学各専攻、健康科学大学体育化学科・食品栄養学科、Scranton 大学国際学部

イ. 深化専攻を採択している学科(専攻)所属の学生は第 1 専攻を深化専攻で履修する。ただし、複数専攻を履修する学生は第 1 専攻を深化専攻で履修しなければならない。

7. 梨花女子大学複数専攻 履修

ア. 履修申請時期

- 1) 学科別入学生：1 学年 2 学期から 4 学年 1 学期(7 学期履修予定)まで申請可能
学部別入学生：2 学年 1 学期から 4 学年 1 学期(7 学期履修予定)まで申請可能
- 2) 取り消しは在学年(8 年)内に可能である、複数専攻履修のため在学期間が延長する場合はと取り消しはできない

3) 2008 学年度第 2 学期申請期間：2008. 10. 13(月)～10. 17(金)

イ. 申請方法：梨花ホームページ

ウ. 申請制限専攻(学科)

- 1) 医学、看護、薬学関連学科及び専攻は複数専攻で履修することができない。
- 2) 2009 学年度第 1 学期から法学科で複数専攻を申請することができない。
- 3) 師範大学は師範大学学生または非師大の教職課程履修予定者で先発された学生に限る。
ただし、初等教育科は師範大学の学生しか支援できない。
- 4) 共通社会専攻は社会性学科の学生と史学専攻、社会学専攻、政治外交学専攻、法学専攻の教職履修課程予定者に限って、複数専攻で履修できる。(2005 以前学番だけ申請可能)
- 5) 共通科学専攻は科学教育科の学生と物理学専攻、化学専攻、生物科学専攻、生命科学専攻の教職課程履修予定者に限って、複数専攻で履修できる。(2005 以前学番だけ申請可能)
- 6) 各専攻(学科)申請及び承認制限条件は梨花ホームページの学事情報→学事案内→専攻選択→副/複数専攻を参照する。

エ. 履修単位：第 2 単位(学科)卒業に必要な専攻基礎科目と専攻科目の所要取得単位を履修する。ただし、

- 1) 造形芸術大学の入学生が造形芸術大学内で複数専攻をする場合、第 2 専攻の専攻基礎科目を除いた専攻所要取得単位以上を取得したらいい。
- 2) 芸術大学造形芸術学部とデザイン学部の学生がデザイン学部または造形芸術学部を複数専攻する場合、第 2 専攻の 1 学年専攻基礎教科目(12 単位)を除いた専攻所要取得単位以上を取得したらいい。
- 3) 複数専攻の教員資格証を取得しようとする学生は‘18. 教員資格証取得’を参考する。

オ. 重複認証

- 1) 専攻基礎科目が同一な学部内で、複数専攻をする場合、第 1 専攻で履修した専攻基礎科目を複数専攻の専攻基礎科目ですべて認定することができる。
- 2) 第 1 専攻で履修した専攻基礎科目または専攻科目が複数専攻しようとする専攻の専攻基礎科目または専攻科目と同一するときは 9 単位まで重複認定することができる。
- 3) 教員資格証取得を目的で複数専攻を履修する場合は重複認定することができない。

カ. 複数専攻者の在学年限：9 年(3 学年編入生 5 年)

8. 副専攻 履修

ア. 履修申請 時期

- 1) 2 学年 1 学期から 4 学年 1 学期(7 学期履修予定)まで申請可能
- 2) 取り消しは在学年限(8 年)内に可能
- 3) 2008 学年度第 2 学期申請期間 1008. 10. 13(月)～10. 17(金)

イ. 申請方法：梨花ホームページ

ウ. 履修単位

- 1) 該当専攻(学科)の専攻基礎科目及び専攻科目で 21 単位以上を履修する、この中で専攻科目が 15 単位以上になければならない。
- 2) 音楽大学は専攻実技 I, II, III, IV を必ず含まれて 21 単位以上を履修する。
- 3) 師範大学各学科を副専攻とする場合は専攻教科目だけで 21 単位以上を履修する。
- 4) 法学を副専攻で履修する場合は他専攻(学科)認証教科目を専攻科目で認めない。(2007 学年度入学生から適用)
- 5) 教職課程履修予定者の副専攻の履修専攻は、‘18. 教員資格証取得’を参考する。

エ. 重複認証

- 1) 第 1 専攻教科目(専攻基礎及び専攻)が副専攻教科目と同一する場合 6 単位まで、第 2 専攻教科目(専攻基礎及び専攻)が副専攻教科目と同一する場合 6 単位まで重複認証することができる。(副専攻を 2 つ以上する場合、副専攻科目はお互い重複認定できない)
- 2) 副専攻教職課程履修を目的で、副専攻を履修する場合は重複認定できない。

オ. 共通社会専攻、共通科学専攻は副専攻で履修できない。